



FRIENDS

The Friendship Force of Saitama 会報 第 80 号 (2011)

2011 年 年次総会(2011.01.30)



- ・ 45 名が出席、2010 年の事業報告、決算報告及び 2011 年の事業計画と予算を検討・決定。引き続き下記内容を討議した。

1. FFI の「2011 年交換ポリシー」の主な変更点説明
2. 2011 年度渡航・受入について
3 月メキシコ渡航、4 月英国受入、5 月ニュージーランド受入
3. アンケート結果報告
 - Host 可能: 1 週間 15 人、3-4 泊 2 人、1 泊 3 人、Dayhost35 人、Dinnerhost12 人、他
 - 渡航先希望: 英国 8 人、イタリア 7 人、ドイツ 5 人、エジプト 4 人、カナダ 4 人、豪州 4 人、他
 - 希望クラブ活動: 1 泊 or 日帰り旅行 21 人、食事会 20 人、ハイキング 17 人、英会話 11 人、ケーキ・パン 11 人、着付 10 人、クラブト 8 人、他。
4. 2011 年度理事人事案の承認・自己紹介
5. 新入会員(岡田秀太郎ご夫妻及び咲本紀美子さん)自己紹介

- ・ 総会に続いて、英国マンチェスター出身の埼玉大学留学生 Jade さんが、英国との違いや日本の好きなところ等を説明後 活発に質疑応答、4 月の英国 Bristol 受入を控え、有意義かつ好調に一年のスタートを切った。

理事及び監査役人事 と 新任理事挨拶



会長 : 沼 純子

副会長 : 岸田 正二郎、新井 ミキエ (新任)

事務局 : 五十嵐 佑子、羽島 継男 (新任)
齋藤 文子 (新任)、
池田 完之 (WEB、会報担当)

企画 : 高橋 京子、岩崎 倉子
原田 史 (新任)

会計 : 中林 八重子、
増田 信枝 (新任)

会計監査 : 浜 敬子、小林 恵美子

新井 ミキエ

“世界のいろいろな国の人々と友達になりたい”と言う子供の頃の夢が叶いました。

小さな単位の家族・友人・埼玉クラブのお仲間を大事にして、今なら、まだ出来る事を皆で楽しんでみたい。

お互いのいろいろな“違い”を認め、理解し合う努力を続け、世界の人々の和をつなげて行きたい。

自分の持っているもの以上の事は出来ませんが、少しでも自分の出来る事をやって行きたいと思います。

齋藤 文子

今年度、理事会の事務局担当の一員に加えさせていただきました齋藤です。

まだ、入会させていただいて1年足らずですが、この1年間FF活動を通じて今までの生活の中では出来ない貴重な体験をさせていただきました。

そんな素晴らしい思い出を残すことができたのも会長さんはじめ、多くの会員の方々のおかげとイベント毎に改めて思い知りました。

この度、事務局の仕事のお手伝いをさせていただくことで、私の感謝の思いを僅かでも表せたらと思っております。まだまだ、FFについては未熟な私ですので、皆様のご指導よろしくお願い致します。

羽島 継男

私 生まれも育ちも葛飾柴又ならぬ、埼玉県浦和です。調宮で産湯をつかい、姓は羽島、名は継男、人呼んでフーテンのツーチャンと申します。超ドメステイック企業に40年勤め、外国語には無縁な男ですが、なぜかFFの魅力にひかれて昨年入会したばかりの新人です。

趣味はゴルフと酒でしょうか。粗野と無学が服を着ているような男ですが、どうかよろしく願いいたします。一年生なので外野の球拾いに汗をかくつもりです。

増田 信枝

休会期間を含めた長い冬眠状態から目覚め、理事をさせて頂くことになりました。総会ではたくさんの旧知の会員の方々から「お久しぶり。元気そうですね。」初対面の方からは、「スペインでのお話、聞かせてください。」と、すてきな笑顔と一緒に温かい声をかけて頂きました。

“この優しい心と笑顔で世界中に輪を広げているんだなあ”そんな皆さんと一緒に活動できることを嬉しく思っています。宜しく願い致します。

原田 史

この一年半余りの間に2回の渡航(ニュージーランド、アメリカ)と1回の受け入れ(カナダ)を経験しました。たまたま英語の国ばかりでしたが、将来はお互い同士、不自由な英語を操りつつ、交流しなければならぬという経験もすることになるのでしょうか。

利益目的でないホームステイを集団で行うという多分珍しい形のふれあいの旅、これからどんな出会いが待っているのか楽しみです。よろしくお願い致します。

イギリスと私

沼 純子

4月になるとイギリスから25名のアンバサダーが埼玉クラブへ来られますが、イギリスは私にとっても懐かしい思い出に満ちた国です。総会のあと、イギリスのマンチェスターから来た交換留学生 Jade の話を聞きながら、私自身のイギリスでの異文化体験を思い出しました。

私はFF以外でも4回イギリスに行きましたが、勤めていた女子高のサマースクール（夏期語学研修）で訪れたチェルトナムという美しい町の host family やイギリス人の先生方とは20年ほど経った今も交流が続いています。

サマースクールは、夏休みの3週間あまりを、ホームステイしながら午前中はイギリス人の先生に英語を教わり、午後はバスの小旅行や、乗馬、クラフトなど色々な課外活動に参加するというプログラムでした。

ホストの旦那さんが夕方5時を過ぎると帰宅、そのあと暗くなるまで夫婦でテニスを楽しむなど、平日も家族と過ごす時間がたっぷりあることにショックを受けました。日本では考えられないことでした。

80年代の日本は景気も良く、物質面では豊かでしたが、家庭や、古く良いものを大切にするイギリス人の生き方の方が、本当の意味で豊かなくらいといえるのではないかと感じました。

Jade も話していたように、日本の学校では街なかでの買い食いは禁止です。でもチェルトナムの先生方がアイスクリームをなめながら歩かれる姿を見て、生徒達も私もソレッと真似したことも愉快的思い出です。日本人教員はカウンセラーとして、生徒の様子を見守り、また host family を



総会后、埼玉留学生 Jade さんと Talking

訪ねて話を聞いたりするのが仕事で、その中で印象に残っているのが、ホスト側から言われた二つの注意です。「水を使いすぎる」と「夕食がすむと自分の部屋に閉じこもってしまう。英語の勉強に来たのだからもっと話すように」ということでした。

水に恵まれた日本と、水は貴重な資源という日英の違い。また、シャイな日本人学生はもっと積極的にコミュニケーションをとる必要があることを痛感しました。

80~100名を超える女子高生が全員ゆかた姿で市長訪問する様子は、現地の人々の目を引き、いつも新聞に載りました。日本人の感覚ではゆかたは普段着ですが、先方では制服よりもゆかたを希望されたのです。

生のイギリス英語に触れ、イギリス紳士の優しさに感動し、そして何よりも、毎日生き生きと楽しそうな生徒たちの姿が今も胸に焼き付いています。

埼玉大学 留学生受入 及び 旧知との交流

バングラディッシュ留学生と

石井友美



バングラディッシュのマンデラさんが、忙しい研究生生活の合間を縫って美しい奥さんと我が家を訪ねてくれました。

昨年結婚したばかりの新婚ホヤホヤです。

家の中がパーと華やかになりました。まずは掘りごたつで緑茶とみかんのおもてなし。地図を広げてお話をしました。

お昼お雑煮をたべて、川越の街歩き。夜、お客様は、おでんを我々は奥さんの手料理のバングラディッシュ料理を。

素敵なディナーになりました。

埼玉大留学生ホームビジット

長島 三枝子



昨年の9月4日に、タイからの留学生、ウィッタナコン バランユ君と一日 home visit のかたちで交流を持ちました。

彼は、背が高くスレンダーな体格で、日本の大学生のようでした。英語と日本語が話せて、将来は、「日本の企業に就職したい。」と話していました。

素直で穏やかな性格と聡明さを感じました。

午前中、私が所属している英会話教室に参加していただき、仲間と交流を持ちました。

午後は、川口のスキップシティを案内した後、埼玉スタジアムへ行きました。

監督のシートに座ることができ、有意義な一日でした。

15才の少年だったカイ

堀内 美紀子

昨年末から新年にかけて、ドイツ・コトブスクラブの23才の青年が我が家に滞在し、子供達家族と賑やかなクリスマス、お正月を過ごし、また友人親子と共に北海道旅行も楽しみました。

当時15才の彼と出会ったのは9年前。米国での3クラブの交流の際でした。その後コトブスクラブが来日の時に再会したのが18才の時。

これまでに年に数回メールのやり取りをしていましたが、昨年9月「明日京都へ留学します」と連絡があった時は驚きました。

そしてまもなく「冬休みに埼玉へ行きたい」との問い合わせがあり再々会となったのです。

身長は2メートルと高く、いつも注目され居心地が悪そうですが、立派な青年に成長していました。

政治の勉強をしている彼の希望で国会議事堂内の見学、最高裁判所、明治神宮、美術館巡り、東京タワー等には娘家族が案内、皇居一般参賀、靖国神社、鎌倉へは同じく留学している彼の友人も共に観光し、空いた時間には彼の旧知のクラブ会員の方々とも楽しい時間が過ごせました。



毎日のように一緒に過ごした8才の孫は、世界各地を旅した話、将来の夢を語るカイに刺激を受けたようです。時に8才の孫の質問に丁寧に答えてくれたり、3才の孫とはカルタの相手をしてくれたりと楽しそうに過ごす彼らを見て、改めてFF精神が多く若者に引き継がれ、平和な世界であってほしいと感じた13日間でした。

F F の交流—台湾訪問

平井義明



F F 埼玉にお世話になり 10 数年、海外に多くの友人ができたことは楽しい思い出になりました。

7 年間毎年訪問しているカウアイ島では、いつのまにか当地のゴルフ場は地元のメンバーと同じ扱いを受けるようになりました。また、去年はドイツから元気な夫妻の来日がありましたが、1 月には今までに経験しない訪問をいたしました。

2 年前に我が家にステイされた台湾のご夫妻のお招きで、台湾を 12 日間で一周いたしました。

私自身台湾はよく訪問し、現地には古くからの友人もいますが、今回ホストをしてくださったのは、台湾の原住民・アミ族の人です。

ご主人は立法院議員で、台東県から選出され、後に行政院原住民局長を務められた方です。

今回の台湾旅行はすべてが初めての経験でした。宿泊は原住民居留地が主で、山岳地が多く、彼らの文化を少し覗きこんで驚くことが多々ありました。

また、山岳地帯は入山許可が必要でしたが、元議員のため、役所には全て電話で連絡するだけで、珍しい経験をさせていただきました。ある原住民部落で、日本人は終戦後初めてだと懐かしそうに日本語で話してこられた高齢のご婦人もいました。

まず、原住民には文字がなく、表示は日本統治時代に定められたヘボン式ローマ字で表しています。現在はこれを政府が認めておらず未だ解決していません。原住民の 80% はクリスチャンで、聖書は部族語または古い日本語を使用していました。

台湾の政治官庁は台北だと思っていたが、

中国大陸との関係で、ほとんどが南投県と山中のトンネルの中で政治が行われていたことや、蒋介石の遺体は彼の山中の別荘に安置され、彼もクリスチャンらしく十字架で飾られていました。

現在の原住民は政府から多くの支援があり、このことが一般人との問題になっているようでした。彼らの生活レベルは高く、子弟は海外留学、優秀な者は MIT でも学んでいます。留学先は米国、ドイツ、イギリスが多いようで、日本はあまり人気がないとのことでした。ホストの息子さんもロンドンの大学で博士号を取得、孫達もロンドンで遊学中とのことでした。

部族により社会構成は異なりますが、アミ族は母系社会でした。招待を受けたホストの胡さんが部落の酋長であることがお宅を訪問して判明し、驚きました。

我々が訪問しているため、早朝から夜遅くまで部族の方たちのご挨拶に来られ、日本語の唄を覚えてきて歓迎してくれたり、日曜礼拝に行けば歌謡曲を歌っていた女性が宣教師でミサを行っていたのには驚きでした。ホストの一族の方でした。

台湾南東での果物や平地一面の菜の花畑。阿里山登山で独特の日の出、雲海。

原住民の民宿、原住民部落訪問など、初めての経験ばかりでした。今日偶然ホストの胡さん夫妻が 4 月に再び我が家に来られるとのメールを受信しました。

今年も、カウアイ島、オーストラリア、ドイツから招待されていて、どちらにお世話になろうかと迷っています。

2010年イヤーエンドパーティ 小林 恵美子



昨年12月5日、市民会館おおみやにてイヤーエンドパーティを開催いたしました。会員及び会員友人、埼玉大学留学生一名含め40名が集いました。

軽食後、恒例のバザーも会員のたくさんの寄付のお陰で盛況でした。ほうれん草やゆずの寄付もあり、今年はバラエティに富んだ内容でした。手作りの小物入れが300円～500円でゲット出来るとあって特に人気があったようです。

2010年のFF埼玉の活動は、オランダ、アメリカ、世界大会と渡航の機会の多い一年でした。

沼さん、池田さん、高橋さんにそれぞれ報告して頂きました。

児島ご夫妻からフォークダンスの正式な指導を受け、皆真剣な顔でステップを踏んでいました。

スリッパピンポンで汗を流し(?)フレンドシップフォースの歌でお開きとなりました。

日頃会う機会の少ない会員さんとも楽しくコミュニケーションが取れました。

大勢参加していただき有難うございました。

クラブからのお知らせ 及び お願い

2011年 スケジュール概要

- 1) メキシコ渡航：3月11日(金)から23日(木) ED：五十嵐 佑子
- 2) イギリス Bristol Club 受入：4月16日(土)～23日(土) ED：西村 純枝
- 3) さいたま市国際フェア：5月3日～4日
- 4) ニュージーランド Kapiti Coast Club 受入：5月26日(金)～6月2日(木)
ED：沼 純子、サブED(全体統括)：新井 ミキエ
- 5) 関東ブロック会議(埼玉クラブ主催)：6月19日
- 6) 世界大会(ドイツ、ハンブルグ)：8月26日～30日
- 7) 埼玉県国際フェア：10月
- 8) 日本大会(大田群馬)：11月19日～20日
- 9) Year-end Party

埼玉クラブ会員募集

埼玉クラブの皆様におかれましては、英語のクラスや、ホームステイ、国際交流に関心のある方に呼びかける等、会員募集にご協力くださいますようお願いいたします。

編集・発行

ザ・フレンドシップ・フォース・オブ・埼玉 事務局

〒337-0052 さいたま市見沼区尾崎町295-7

TEL : 048-684-9733 FAX : 048-684-9733

発行日：2011年2月20日